

5. 農業振興活動

(1) 農業者の所得増大・農業生産に向けた取り組み

需要が高い品種への作付推進により、ハツシモのシェアが拡大しました。市場、仲卸、量販店と意見交換会を開催し、産地の状況やニーズの把握に努め、積極的な販売推進に取り組みました。

農業生産コストの低減に向けて、費用の圧縮につながるJA直接販売や系統直販の取り組みを強化しました。また、新規のwebサイトを構築し、ネット直販を新たに開始したことで全国の消費者に対し地域特産物をPRできました。



(2) 地産地消・食育の取り組み

「地産地消」実践の場として農林畜産物直売所を開設し、地元で獲れた新鮮野菜と加工品を販売しています。直売所店舗ではデジタルサイネージを設置し、生産者の紹介や出荷者の募集、料理レシピ等の動画を放映し、地域の生産者の顔が見える交流を大切にして消費者にとって買い物が楽しく愛着が持てる店舗づくりに努めています。また、管内の学校給食、福祉施設、社会福祉協議会等へ地場産農畜産物の提供も積極的に実施しました。

フレッシュミズ部員が運営する「Café de marche 笑味ちゃん」では、地場産食材を使った日替わりランチ等を提供しています。

また、「食」と「農」の大切さを伝えるため、JA食農リーダーによる「まめなかな運動」を管内の小学校で実施し、豆腐づくり教室等を開催しています。



(3) 担い手・新規就農者への支援

農業経営相談員(TAC)を配置し、担い手への徹底した訪問活動を展開し、経営分析による作付提案、施肥技術等の指導を実施しています。また、新規就農者や農業後継者の確保や農業技術向上のため、柿やナス等の帰農塾を開催しています。

さらに、信用部門と営農経済部門との連携を強化し、補助事業の情報提供を行いながら、経営計画・経営状態に則した適切な資金提供を行っています。

担い手サポートセンターを農業支援の拠点施設として、関係機関と連携しながら営農指導を行っています。主に、それぞれの地域の特性をいかした農業振興や栽培・経営指導等に努めています。



(4) 地域密着型金融への取り組み

■農業関連融資の取り扱い状況(令和6年3月末)

(単位:千円)

農業制度資金	農業近代化資金	2件	39,337
	就農支援資金	3件	5,361
農業関連融資(アグリサポート)		152件	432,492

《各資金の趣旨・概要》

■農業経営改善のための長期資金(農業経営改善関係資金)

農地・機械・施設等の取得・改良・造成、家畜の購入・育成、果樹等の植栽・育成、長期運転資金(認定農業者のみ)等、内容に応じて適切な資金を利用することができます。

資金名	内 容	償還期間(原則)
農業近代化資金	農業者の方が、経営改善のため、施設の取得や農機具・家畜等の購入をする場合や長期運転資金を必要とする場合などに、ご利用いただける資金です。	15年以内
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	認定農業者の方が、資金規模が大きく償還期間が長い資金を必要とする場合や、農地を取得する場合などにご利用いただける資金です。	25年以内
経営体育成強化資金	認定農業者以外の担い手農業者の方が、資金規模が大きく償還期間が長い資金を必要とする場合や、農地を取得する場合などにご利用いただける資金です。	25年以内

■新たに農業を始めるための資金

農業経営を開始するために必要な資金を利用することができます。

青年等就農資金	新たに農業経営を開始する方が、認定就農計画の目標達成を図るための資金を必要とするときに、無利子でご利用いただける資金です。	17年以内
---------	---	-------

■農業関連融資(JAの融資商品)

アグリサポート	正組合員の多様な営農資金需要に対応できるスピーディーで低利なJA独自資金です。設備資金から運転資金まで、幅広い用途に対応し農業経営をサポートします。	15年以内
---------	--	-------